

「豊島セミナー」を実施しました。

12月7日(木)に令和5年度豊島セミナーを実施しました。豊島セミナーは社会で活躍されている方のお話を聞くことで、進路開拓のヒントにしたり、生徒の知的欲求を刺激し、今後の自己実現に役立てたりすることを目的にしています。今年度は、本校の卒業生であり、現在は中央大学職員と同時に都留文科大学の非常勤講師もされている梅澤貴典さんを講師にお招きし、「ネット情報におぼれない学び方～知的好奇心で未来を切り拓くために～」をテーマにご講演いただきました。

ご講演では、豊島高校を卒業されてから、「学術情報リテラシー教育による知的生産力・企業立案力の向上策」に関する研究と実践を続けるようになるまでについて、ご自身の経験を交えながら、学校図書館の役割やその意義をお話ししてくださいました。また、ジブリ作品のモデルになった場所を例にして、インターネットに溢れている情報の不確かさや、一次情報を辿ることの大切さなど、情報リテラシーについて考える機会を作ってくださいました。

生徒からは、情報リテラシーに関する学びが深まり、探究活動へ生かしたいという意欲のある感想が多く寄せられました。



生徒の感想

「スマホで簡単に情報を入手できる今だからこそ全ての情報を鵜呑みにするのではなく、1次情報から正しい情報を得たいと思いました。」

「今回のこの話を聞いて、それこそただ聞くだけではなくこのお話を聞いて自分で考えなければいけないと感じました。私はこの話を聞いて、自分の考えをよりいいものにするために情報を自分の視点で見る必要があり、その上で自分の好きなこと、学びたいことを学んでいきたいと感じました。」

